

# 2015年度（37期） 事業報告書

自：2015年4月 1日

至：2016年3月31日



**公益財団法人 関西盲導犬協会**

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-2

# 2015年度事業報告書

(2015年4月1日－2016年3月31日)

公益財団法人 関西盲導犬協会

## 1. 公益事業部門

### 1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

#### (1) 盲導犬の貸与

##### ①盲導犬貸与ならびに共同訓練

##### a. 盲導犬貸与数 (実働盲導犬数)

2016年3月末現在、実働盲導犬数84頭 (ユーザー数88人)

##### b. 共同訓練

2015年度は11人の視覚障がい者に共同訓練を実施し10頭の盲導犬貸与を行った。詳細は次のとおりであった。

| 番号   | 性別 | 都道府県 | 犬名    | 犬種 | 性別 | 貸与日    | 新代 |
|------|----|------|-------|----|----|--------|----|
| 7373 | 女  | 大阪府  | ティップ  | LR | 雌  | 4月25日  | 代替 |
| 7374 | 男  | 富山県  | タイム   | LR | 雄  | 6月4日   | 代替 |
| 7375 | 男  | 兵庫県  | フェアリー | GR | 雌  | 8月21日  | 代替 |
| 7376 | 女  | 兵庫県  | フェアリー | GR | 雌  | 8月21日  | 代替 |
| 7377 | 男  | 滋賀県  | エーデル  | LR | 雌  | 9月26日  | 代替 |
| 7378 | 男  | 大阪府  | ハーモニー | LR | 雌  | 10月17日 | 代替 |
| 7379 | 女  | 京都府  | ハウル   | LR | 雄  | 11月14日 | 代替 |
| 7380 | 男  | 滋賀県  | ジョディ  | LR | 雄  | 11月26日 | 代替 |
| 7381 | 女  | 愛媛県  | リッキー  | LR | 雄  | 12月26日 | 代替 |
| 7382 | 男  | 兵庫県  | フラッシュ | GR | 雄  | 1月23日  | 代替 |
| 7383 | 女  | 高知県  | ウィニー  | LR | 雌  | 2月26日  | 新規 |

※ LR: ラブラドル、GR: ゴールデン

##### ②公正な盲導犬貸与の実施

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与委員会規程に基づく公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、盲導犬貸与委員会を開催し、盲導犬貸与申込者の選定ならびに共同訓練に関する各事項の手続きの確認を行った。

第52回盲導犬貸与委員会 (4月4日)

第53回盲導犬貸与委員会 (5月9日)

第54回盲導犬貸与委員会 (6月13日)

第55回盲導犬貸与委員会 (7月4日)

第56回盲導犬貸与委員会 (8月1日)

第57回盲導犬貸与委員会 (9月5日)

第58回盲導犬貸与委員会 (10月3日)

第59回盲導犬貸与委員会 (11月7日)

第60回盲導犬貸与委員会 (12月12日)

第61回盲導犬貸与委員会 (1月9日)

第62回盲導犬貸与委員会 (2月6日)

第63回盲導犬貸与委員会 (3月5日)

### ③盲導犬ユーザーへのフォローアップ

#### a. 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ

フォローアップ専任職員を中心に、盲導犬ユーザーが安全で快適な盲導犬歩行ならびに生活が継続できるようフォローアップの充実を図った。2015年度のフォローアップ実施件数は202件（前年度216件）であった。

- ・ 定期 91件
- ・ ファミリアリゼーション 29件
- ・ 共同訓練直後 8件
- ・ 犬の健康管理 30件（※）
- ・ 犬の問題行動 19件
- ・ その他 25件

※10歳および9歳の高齢犬に対しての引退前健康チェックを含む

## (2) 盲導犬の育成

### ①繁殖

a. 2015年3月末の繁殖状況は次のとおりであった。

- ・ 当協会で生まれたパピー頭数 48頭（うち35頭をパピーウォーカーに委託）
- ・ 他協会から譲り受けたパピー頭数 3頭（北海道盲導犬協会2頭／中部盲導犬協会1頭）
- ・ 2016年3月末の繁殖犬総数 24頭（内訳 オス 12頭／メス 12頭）  
うち新規繁殖犬登録数 1頭

b. AGBN(アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク)の実務担当者会議（3回開催）に訓練部長ならびに繁殖担当職員を派遣した。また、AGBNを通じて繁殖における専門家ならびに有識者と意見交換を行い、繁殖に関する知識の向上に努めた。

### ②パピーの育成

a. 2016年3月末のパピーウォーキングの状況は次のとおりであった。

- ・ パピーウォーカーに委託したパピー頭数 38頭
- b. 巡回指導およびパピースクール等の状況は次のとおりであった。
  - ・ 定期巡回指導 のべ 310件
  - ・ パピースクール（16回、のべ200家族参加）

### ③盲導犬候補犬の訓練

- a. パピー引き上げ時期の集約、訓練評価の定期化等、例年どおりの取り組みを実施した。
- b. 固定柵を設けない新しい犬舎での生活を想定した訓練を行なった。

## (3) 盲導犬の保健衛生管理

### ①盲導犬のケア

- a. 引退が近づいた盲導犬に対し、身体的に健康な状態で引退できるよう健康診断を行った。
- b. 昨年に引き続き、貸与後、特定の病気を有する盲導犬に対して療法食の補助を行った。

### ②繁殖犬・パピーのケア

定期巡回ならびにセミナー等を通じて、犬の健康管理・衛生管理についての指導を行なった。

### ③訓練犬のケア

- a. クイールの会（ボランティアの会）ならびにボランティアの協力のもと、訓練犬のシャンプーならびに犬室の整備を実施し犬舎環境の改善を図った。
- b. 新しい犬舎を衛生的に保つための建築材質の選定とその管理方法について検討した。

#### ④リタイア犬のケア

リタイア犬（盲導犬を引退した犬）の飼育ボランティアと連携を取りながら、リタイア犬の健康管理や介護などの問題に対応し、リタイア犬が快適な余生を過ごせるよう努めた。

a. 2016年3月末のリタイア犬の総数は次のとおりであった。

・リタイア犬総数70頭

b. リタイア犬のマッサージセミナーの開催

リタイア犬の健康維持を目的に、専門員によるマッサージセミナーを開催した。

（計5回、のべ50組参加）

・9月23日（午前・午後）

・11月11日（午前・午後）

・2月11日（午前）

c. リタイア犬の医療等の支出について

2016年度3月末までに、リタイア犬のケアにかかる費用として、下記のとおり支出した。（合計3,519,892円）

・リタイア犬のフード代等 1,231,346円

・ワクチン等の医療費 1,942,555円

・火葬費 345,991円

#### （4）盲導犬訓練士および歩行指導員の養成

##### ①盲導犬訓練士および歩行指導員の養成

盲導犬訓練士1名について、認定NPO法人全国盲導犬施設連合会から盲導犬歩行指導員の認定を受けた。（2016年4月1日 認定予定）

##### ②研修

下記、研修会等に訓練士、歩行指導員ならびに関係職員を派遣した。

a. 認定NPO法人全国盲導犬施設連合会が主催する研修会

・ジャパンセミナー（2016年2月）

・他協会の犬舎管理方法の見学（日本盲導犬協会 2016年3月）

#### （5）その他

##### ①犬舎の移設

建物取得資金積立資産取扱規程に基づく犬舎の移設を完了した。（2016年3月30日引き渡し完了）

##### ②ボランティアとの連携

a. クイールの会（ボランティアの会）ならびにボランティアの方々の協力のもと、訓練犬のケア・犬舎ならびに前庭の清掃等を定期的実施した。

b. リタイア犬ならびにキャリアチェンジ犬の活用（フレンドドッグ活動）

4名のボランティアの協力を得て、高齢者福祉施設等を訪問するフレンドドッグ活動を実施した。（のべ86件、前年比25件減）

#### 1-2. 相談事業

##### （1）盲導犬・視覚障がい者に関する問題に対する措置

2015年3月末までに受けた苦情は14件、相談は19件であった。

##### ①苦情内容ならびに件数（14件）

・盲導犬ユーザーの盲導犬に対する扱いについて（11件）

※うち2件が当協会ユーザーであったため状況確認のうえ指導を行い再発防止に努めた。

- ・タクシー乗務員からユーザーの犬の管理とマナーについて（1件）
- ・ビル管理事業者からユーザーの犬の管理について（1件）
- ・一般の人から盲導犬の行動について（1件）

②相談内容ならびに件数（19件）

- a. 盲導犬ユーザーからの受け入れ拒否等に関する相談（12件）
  - ・商業施設3件、観光施設1件、飲食店4件、病院1件、レンタカー1件、高速バス1件
  - ・盲導犬に危害を加えようとしたことについて1件
- b. 受け入れ側からの相談（7件）
  - ・飲食店2件、事業所1件、マンション1件、旅館1件、寺社仏閣1件、タクシー会社1件

1-3. 啓発普及事業

(1) 盲導犬の必要性ならびに身体障害者補助犬法についての啓発活動

①視覚障がい者に対する啓発普及活動

- a. 以下の団体からの要請を受けて、盲導犬の体験歩行を行った。
  - 2015年 5月15日 長岡京市視覚障害者協会
  - 2015年 5月15日 大津市視覚障害者協会
  - 2015年 9月27日 高知県身体障害者連合会
  - 2015年10月 4日 丹後視力障害者福祉センター
  - 2015年12月11日 兵庫県視覚障害者福祉協会
  - 2016年 2月28、29日 滋賀県視覚障害者福祉協会
- b. 機関誌「ハーネス通信」の点字・CD・電子データ版を4回発行した。  
（2015年4月1日、7月1日、10月1日、2016年1月1日発行）

②行政ならびに関係団体と連携した啓発普及活動

京都府身体障害者 更生相談所が開催する視覚相談会、京都ライトハウスが開催する南部サテライト事業に職員を派遣し、盲導犬に関する情報提供を行った。

- 2015年 5月20日 長岡京市
- 2015年 5月29日 舞鶴市
- 2015年 7月27日 亀岡市
- 2015年 9月18日 城陽市
- 2015年11月 27日 弥栄町
- 2016年 1月 28日 木津川市
- 2016年 3月 17日 向日市

③一般市民に対する啓発活動

- a. 訓練センターの見学
  - ・定例見学会（3月を除く毎月第3日曜日）参加者数320名（前年度比279名減）
  - ・その他の見学 36団体
- b. オープンデー（2015年4月29日）
  - ・参加者 約700名
- c. 講演活動（学校・企業・社会奉仕団体等からの依頼）
  - ・学校での講演 145件（うち23件は盲導犬ユーザーが講演）
  - ・イベントならびに社会奉仕団体の例会等での講演と実演 61件

④ホームページや機関誌による情報提供

- a. ホームページのリニューアル

- ・写真を多用したホームページにした。
- ・盲導犬ならびに盲導犬ユーザーへの理解が深まるようページ立てを変更した。
- b. 機関誌「ハーネス通信」
  - ・犬の健康管理を通年のテーマとした特集を毎回掲載した。

## (2) 啓発に関する調査および研究

同志社大学と共同で、京都の寺社仏閣、観光施設、旅館等での補助犬ユーザー受け入れの理解を進めることを目的に、同大学生と共に補助犬ユーザー受け入れについて資料収集、受け入れに関するインタビューなどを実施し、「京都発！補助犬受け入れガイドブック」を作成した。

## 2. 管理部門

### (1) 安定的な事業運営のための働きかけ

#### ①会員

2016年3月末の会員数は次のとおりであった。

総会員数 1,309件 (2015年度3月末 1,343件)

- ・正会員 1,196件 (前年度 27件減)
- ・青少年会員 18件 (前年度 4件減)
- ・法人会員 27件 (前年度 5件減)
- ・後援会員 31件 (前年度 8件増)
- ・マンスリー会員 37件 (前年度 6件減)

#### ②募金箱

2016年3月末の募金箱回収状況は次のとおりであった。

- ・2016年3月末の設置店舗数 2,098件 (2015年3月末比 15件増)
- ・回収金額 11,410,386円 (前年度 10,874,993円)

#### ③街頭募金

2016年3月末のクイールの会と協会職員による街頭募金を85回実施し、募金金額は9,771,955円 (前年度 109回実施、12,851,918円) であった。

#### ④募金自動販売機の設置

2016年3月末の設置台数は71台 (新規5台、サントリーウォーターサーバー2台) 寄付額総計 883,171円 (前年度 815,303円) であった。

協力企業 (関西キリンビバレッジサービスグループ・アサヒ飲料販売・サントリービバレッジサービス・他5社)

## 3. 施設整備計画

- (1) 犬舎移設、前庭整備、既存棟1階トイレならびに既存棟宿泊室の改修工事を完了した。  
(総額 152,000,000円)
- (2) 軽自動車 (1台) の入れ替えを行なった。(車両購入費 1,050,628円)

#### 4. その他

##### (1) 職員について

|      |          | 正職員数 | パートタイマー | 資格取得年数   |
|------|----------|------|---------|--|
| 管理部門 | 管理・事務職   | 4    | 2       |  |
|      | 普及啓発     | 2    |         |  |
| 訓練部門 | 盲導犬歩行指導員 | 5    |         | 1999年1名、2002年2名、2014年1名、<br>2016年(4月1日)1名<br>※上記5名は盲導犬訓練士の有資格者 |
|      | 盲導犬訓練士   | 2    |         | 2011年1名、2012年1名  |
|      | パピー担当者   | 1    |         |  |
|      | 繁殖担当者    | 1    |         |  |
|      | 犬舎管理担当者  |      | 1       |  |
| 計    |          | 15   | 3       |  |

##### (2) 訓練士等のキャリアアップの状況

訓練犬の訓練頭数ならびに視覚障がい者の歩行指導回数等、日本盲人社会福祉施設協議会の自立支援部会盲導犬委員会ならびに認定 NPO 法人全国盲導犬施設連合会の策定した基準に則り、訓練士ならびに歩行指導員を養成。その他に、国際盲導犬連盟、アジアブリーディングネットワーク、視覚障害リハビリテーション協会等の主催するセミナーや会合などに積極的に参加して、訓練技術や視覚障害に関する知識のキャリアアップを実施。

##### (3) 訓練について

| 犬のステージ | 期間<br>(犬年齢)     | 訓練のステージ              | 担当職員                    | 内容  |
|--------|-----------------|----------------------|-------------------------|---|
| 子犬     | 生後 60 日～<br>1 歳 | パピーウォーキング            | パピー担当                   | パピーウォーカー（子犬飼養ボランティア）宅での基本的な躰や生活                       |
| 訓練犬    | 1 歳～<br>約 2 歳   | 候補犬の訓練               | 訓練士<br>歩行指導員<br>犬舎管理担当者 | 直線歩行・障害物回避・段差発見・公共交通機関の利用・ステイ（待つこと）・生活訓練（食餌・排泄等）      |
|        | 約 2 歳           | 共同訓練<br>(2 週間～ 4 週間) | 歩行指導員                   | 視覚障がい者と訓練犬との歩行訓練ならびに生活訓練                              |
| 盲導犬    | 2 歳～<br>10 歳    | フォローアップ              | 歩行指導員                   | 盲導犬ユーザーが安全な歩行かつ快適な生活を持続するために、盲導犬貸与後年 1 回以上のフォローアップを実施 |

(4) 施設について

①施設の場所

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

②敷地面積

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2 (5,715.71m<sup>2</sup>)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-3 (2,486m<sup>2</sup>)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-4 (393m<sup>2</sup>)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷24-2 (105.98m<sup>2</sup>)

③建物

a. 訓練センター棟(鉄筋コンクリート2階建て) 826m<sup>2</sup>

事務所・厨房・食堂・ホール・宿泊室(7室)・犬用医務室・犬舎

b. 新犬舎(鉄骨平屋建て) 犬室4室 94.60m<sup>2</sup>

c. ハーネス研修センター(木造2階建て) 宿泊室3室 厨房・食堂 122.84m<sup>2</sup>

d. 訓練棟「木香テラス」(木造 一部2階建て) 549.79m<sup>2</sup>